



徳島県 スポーツ推進計画

スポーツで創る！とくしまレガシー

概要版



平成30年3月
徳島県

徳島県スポーツ推進計画とは

1

計画策定の趣旨

2013（平成 25）年 3 月の「徳島県スポーツ推進計画」策定から 5 年が経過し、本県を取り巻くスポーツ環境に大きな変化が訪れています。

特に、「東京オリンピック・パラリンピック」をはじめとする大規模な国際スポーツ大会が本県内外で連続して開催され、スポーツへの興味・関心が高まることが期待されています。

これを「スポーツ王国とくしま」の推進と、「明るく活力あるスポーツライフ」の実現の絶好の機会と捉え、更に魅力的で多岐にわたるスポーツ関連施策を推進するため、新たな「徳島県スポーツ推進計画」を策定することとしました。

2

計画の性格

- (1) 本計画は、県民の誰もが、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しみ、スポーツを通じて県民の元気を創造する「スポーツ王国とくしま」の推進を目指すための基本的な方向性を示したものです。
- (2) 本計画は、「スポーツ基本法」に基づき、本県スポーツ推進の基本的な方向性を示した計画であり、「第 2 期スポーツ基本計画」を参考に、「徳島県スポーツ推進条例」の趣旨を踏まえ、本県の実情に合わせて策定したものです。

3

計画の期間

2018（平成 30）年度から 2022（平成 34）年度までの 5 年間とします。

4

スポーツの意義

スポーツは、次代を担う青少年の体力を向上させるとともに、他者を尊重しこれと協同する精神、公正さと規律を尊ぶ態度や克己心を培い、実践的な思考力や判断力を育む等、人格の形成に大きな影響を及ぼすものです。

また、スポーツは、人と人との交流及び地域と地域との交流を促進し、地域の一体感や活力を醸成するものであり、人間関係の希薄化等の問題を抱える地域社会の再生に寄与するものです。

さらにスポーツは、心身の健康の保持増進にも重要な役割を果たすものであり、健康で活力に満ちた長寿社会の実現に不可欠です。

また、アスリートの活躍は県民に誇りと喜び、夢と感動を与え、地域社会に活力を生み出し、地域経済の発展に寄与するものです。

5

計画の推進体制

基本理念・基本目標の実現に向け、市町村、市町村教育委員会、徳島県体育協会、徳島県スポーツ振興財団、競技団体、総合型地域スポーツクラブほかスポーツ関係団体、県内大学・企業などとの連携・協働により、本計画に盛り込まれた各種施策を効果的・効率的に実施します。

また、「徳島県スポーツ推進審議会」を定期的で開催し、基本目標ごとに掲げた施策目標の達成状況の評価を行います。



- 競技団体
- 総合型クラブ
- 地域スポーツクラブ
- プロスポーツ団体
- 企業スポーツ団体

スポーツ
団体等

- 徳島県体育協会
- 市町村体育協会
- 徳島県スポーツ振興財団
- スポーツ少年団
- 小中高等学校体育連盟

行政
機関

連携・協働

教育
機関

- 県・市町村
- 徳島県教育委員会
- 市町村教育委員会
- 市町村スポーツ推進委員

県民
企業

- 大学
- 小中高等学校
- 幼稚園・保育所



計画の施策目標一覧

基本目標 1 世界にはばたくトップアスリートが育つ「輝くとくしま」の推進

成果指標	現状（平成 ²⁸ 年）	目標
東京オリンピック・パラリンピック及びデフリンピックに日本代表として出場・参加できる本県ゆかりの選手、指導者	—	③③ 14人
国民体育大会天皇杯順位	②⑧ 46位	③④ 30位台
国民体育大会入賞数	(個人) ②⑧ 33 (団体) ②⑧ 2	(個人) ③④ 45 (団体) ③④ 16
高校総体(全国大会)もしくは同規模大会での入賞数	②⑧ 40	③④ 50
プロスポーツ選手やコーチなどによる「スポーツ教室」開催回数	②⑧ 185回	③④ 200回
各学校や競技団体のチームへの医科学サポートスタッフのサポート件数	—	[毎年] 延べ70件
女性アスリート支援セミナーの開催	—	[毎年] 4回

基本目標 2 運動好きで健やかな子どもたちが育つ「元気なとくしま」の推進

成果指標	現状（平成 ²⁸ 年）	目標
運動好きの子どもの割合で全国平均を上回るカテゴリー数(小学校5年生の男女, 中学校2年生の男女, の合計4)	②⑧ 3	③④ 全カテゴリー
総合型クラブが行う未就学児・小学生を対象とした事業への助成件数	②⑧ 9	③④ 20
小学校5年生, 中学校2年生の『運動能力調査』で, 全国平均を上回る種目数(全34種目)	②⑧ 12種目	③④ 17種目
ICT ランキングシステムの参加チーム数	②⑧ 3,343	③④ 4,000
徳島科学技術高校のアーチェリー, ウェイトリフティング, 弓道の3競技施設一体整備	—	③⑩ 整備完了 ③⑪ 使用開始
高校総体(全国大会)もしくは同規模大会での入賞数(再掲)	②⑧ 40	③④ 50
徳島県高等学校総合体育大会の参加率	②⑧ 48.3%	③④ 55%

基本目標 3 生涯にわたってスポーツを楽しむ「豊かなとくしま」の推進

成果指標	現状（平成 ²⁸ 年）	目標
ノーマピック・スポーツ大会(徳島県障がい者スポーツ大会)の開催	②⑧ 開催	③④ 推進
障がいのある人とない人がともに参加できるスポーツ大会の開催	—	③④ 推進
県健康福祉祭等のスポーツ及び文化交流大会等参加者数	②⑧ 4,187人	③④ 4,800人
女性アスリート支援セミナーの開催(再掲)	—	[毎年] 4回
成人の週1回以上のスポーツ実施率	②⑧ 47.1%	③④ 65%
スポーツに関心のない人の割合	—	③④ 0%
総合型クラブの法人取得等の自立を促進	②⑧ 8団体	③④ 12団体
ウォーキングイベント参加者数	②⑧ 3,500人	③④ 倍増

基本目標 4 世界にはばたくトップアスリートが育つ「ふれあいとくしま」の推進

成果指標	現状（平成 ²⁸ 年）	目標
東京オリンピック・パラリンピックのキャンプ地誘致	—	③② 3件
ホストタウン相手国等とのスポーツ交流件数	②⑧ 4件	③① 10件(累計)
ラグビーワールドカップ2019 事前キャンプ誘致	—	③① 受入れ
国際スポーツ大会の誘致対象競技をはじめとした施設の利用環境の向上 ・「とくしまカヌー・レガシーセンター」の整備・利用促進 ・鳴門・大塚スポーツパーク球技場芝生の改修 ・J Aバンク蔵本公園ちよきんぎょプールの改修 ・県立中央武道館空調等の整備 ・橘港小勝・後戸地区の緑地整備 ・西部健康防災公園の整備 ・南部健康運動公園の整備 ・既存の体育施設の長寿命化・防災機能の強化	—	③④ 推進
徳島ヴォルティスホームタウンデー年間招待者数	②⑧ 1,732人	③④ 2,000人
徳島インディゴソックスホームゲーム年間招待者数	②⑧ 1,655人	③④ 2,000人

施策の体系

1

輝くとくしまの推進

〈テーマ〉

トップアスリートの育成を目指した一貫指導体制の構築による、国内外で頂点を極める選手や指導者の育成

- (1) 県民の希望，誇りとなるトップアスリートの輩出
- (2) 新たな有力競技の創出
- (3) アスリートに対するサポート体制の充実

〈施策〉

- 【トップアスリートの輩出と競技力の向上】
- 【一貫指導体制の構築】
- 【顕彰制度の推進】
- 【医科学サポートの推進】

〈主な取組〉

- 国際大会や全国大会で活躍が期待される選手に対し、競技力の向上に関する支援を行う。
- 優れた素質を持つジュニア選手の発掘から、トップアスリートまで切れ目のない強化体制を構築する。



2

元気なとくしまの推進

〈テーマ〉

小さな時から、運動の楽しさや喜びを味わわせることによる、運動好きな資質とスポーツを楽しむ習慣を身につけた子どもの育成

- (1) 運動の楽しさ，喜びを実感し，主体的に取り組む児童の育成
- (2) 学校における体育・スポーツ環境の整備
- (3) 活気あふれる運動部活動の推進

〈施策〉

- 【学校を核とした派遣指導者制度の充実】
- 【総合型クラブを活用した子どもの運動習慣化】
- 【児童・生徒のスポーツ参画機会の拡大】
- 【学校を核とした競技力の向上】
- 【学校を核としたスポーツ環境の整備】

〈主な取組〉

- トップスポーツ校を指定し、全国大会や国民体育大会において活躍できる運動部を育成する。
- 総合型クラブが市町村等と連携し、学校の体育活動等へのスポーツプログラムの提供や指導者の派遣を行う。
- 2022 インターハイを見据え、学校の特徴をいかした運動部活動を育成する。



〈主な取組〉

- 障がい者のスポーツ振興を図るため、障がい者スポーツ指導員を派遣し、障がい者スポーツへの参加促進や技術力の向上を図る。
- 「自転車王国とくしま」のブランドを発信するため、サイクルスポーツを通じた新しい魅力を創り出す。



〈テーマ〉

それぞれの体力や年齢，技術，興味，目的に応じ，スポーツを「する」「みる」「ささえる」と様々な方向から，主体的に参画できる環境の充実

- (1) 障がい者，高齢者，女性がスポーツに参加しやすい環境づくり
- (2) 無関心層をゼロにするスポーツ習慣化
- (3) スポーツで地域を支える基盤づくり

〈施策〉

【障がい者，高齢者，女性のスポーツ参画機会の拡大】

【スポーツ実施率の向上】

【総合型クラブの基盤強化】



〈主な取組〉

- 国際スポーツ大会のレガシーとしてスポーツ施設の整備・改修を進める。
- 世界水準の「にし阿波」観光地域づくりとして，ラフティング，ウェイクボードなどを活用したスポーツツーリズムを展開する。
- 「四国の右下」をサーフィンやトライアスロン等，アウトドアスポーツのメッカにする。

〈テーマ〉

地域の特性や自然環境を活用した様々なスポーツイベントの充実や，それを支えるスポーツボランティアの育成

- (1) ソフト・ハード一体となった環境整備による新たなスポーツ聖地の創出
- (2) 文化・食と連携したスポーツツーリズムによるとくしまの魅力発信
- (3) 新たなスポーツ交流を通じた地域活力の醸成

〈施策〉

【国際スポーツ大会を契機としたレガシーの創出】

【スポーツ施設の整備・拡充】

【地域の特性や自然を活かしたスポーツの充実】

【国際スポーツ大会を見据えた本県の魅力発信】

【地域密着型のプロスポーツ等との連携強化】

【情報発信の充実】

基本理念・基本目標

1

徳島県が目指す姿

みんなが誇れるスポーツ王国（「新未来『創造』とくしま行動計画」中期プラン編）

2

基本理念

県民の誰もが、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しみ、スポーツを通じて県民の元気を創造する、全国に誇りうる「スポーツ王国とくしまづくり」の推進

3

基本目標

基本理念を実現するために4つの「基本目標」を設定

世界にはばたく
トップアスリートが育つ

**「輝くとくしま」
の推進**

運動好きで健やかな
子どもたちが育つ

**「元気なとくしま」
の推進**

生涯にわたって
スポーツを楽しむ

**「豊かなとくしま」
の推進**

親睦や交流の場として
スポーツに親しむ

**「ふれあいとくしま」
の推進**



世界にはばたく
トップアスリートが育つ

輝く
とくしま



運動好きで健やかな
子どもたちが育つ

元気な
とくしま



生涯にわたって
スポーツを楽しむ

豊かな
とくしま



親睦や交流の場として
スポーツに親しむ

ふれあい
とくしま



徳島県 県民環境部 県民スポーツ課

<https://www.pref.tokushima.lg.jp/kenseijoho/soshiki/kenminkankyoubu/kenminsportska/>

『徳島県スポーツ推進計画』の全文は、
徳島県ウェブサイトに掲載しています。